キャラクター名: Folklore:Memories　No.013　"Worthless.REVIVAL（観客亡き再上映）"

プレイヤー名:

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	電脳幻影/"Folklore:Memories"
オプショナル		年齢	15歳に至っているかも怪しい	性別	女性
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	42 %
出自	最後の希望	経験	記憶喪失	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	0	0	1			1
精神	6	0	0			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
Memory-Pray		10				侵食値2　オリジン：レジェンドLv5
Memory-Play	白兵	6r+12	3	40		侵食値10@8　CR2+コンソ+マルチ+ヴァリアブル3
All for you		0				侵食値6　常勝の天才5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
フォークロア共振（相当：情報収集チーム）	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
複製体	P　執着	N 劣等感		
選ばれた姉妹	P　執着	N 劣等感		
黒谷　奏	P 幸福感	N　隔意		
ホローカーブ	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CR:ノイマン	2	2	メジャー	-	自身	対抗	-	
効果：	お馴染みDXの醍醐味。							
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器	-	対抗	-	
効果：	2個の武器同時装備							
ヴァリアヴルウェポン	3	3	メジャー	武器	-	自動	-	
効果：	マルチウェポンに更に+Lv個の武器装備							
コントロールソート〈白兵〉	1	2	メジャー	-	自身	対抗	-	
効果：	射撃を【精神】で振る							
(D)ハードワイヤード	5	-	常時		自身	-	-	
効果：	アームブレードx5　基本侵食値							
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー		自身	自動	-	
効果：	【精神】判定の達成値+[Lv*2]							
ヒューマンネイバー	1	-	常時		自身	自動	-	
効果：	衝動判定のダイス+Lv個　基本侵食値+5							
常勝の天才	5	4	セット	視界	シーン選択	自動	ピュア	
効果：	攻撃力+[Lv*4]							
テイクオーバー	1	2	オート				-	
効果：								
完全演技	★	-						
効果：	その起源からメモリーズは誰しもが							
プロファイリング	★	-						
効果：	僅かな情報から対象の望む存在を模倣できる。							
究極鑑定	★	-						
効果：	物事に宿る使用された記憶を再演する。							
効果：								

■ロプロフィールロ■
見捨てられた、選ばれなかった記憶を抱えて蘇った亡霊。

SNSで実しやかに囁かれているフォークロア《Memories》。
それはある日突然亡くなった人が親しい人の目の前に現れるというものだ。
この近年発生している蘇りとも呼べる現象、
その正体はレネゲイドウィルス感染者が死者を想う強い思念と、
ネット上に渦巻く黄泉がえり伝承への熱を媒介に受肉し生まれたRBだ。

死者と同じ姿形で生まれ落ち、同じ声で話す、殆どの記憶を持たない存在。
けれど、ごく稀に発生のきっかけとなったような強烈な記憶を断片的に有してる。
構造としては人間を再現しているので思考や感覚は人間の構造を取るため、
オリジナルが死亡している点を除けば極めて判別が難しく、
《Memories》の受肉はそのほとんどが蘇生を願ったものの目の前で受肉するため、
遺族が《Memories》を亡くなった本人として受け入れてしまい、
UGN側でも補足できていないケースが相当数いると思われる。

《Memories》は一人の例外もなくその存在を願われて生まれてくる。
No.13を我々が発見し、協力関係を築けた最大の理由は、
彼女の黄泉がえりを望んだ人間が居なかったことだろう。
No.13を保護した区域では原因不明の大規模災害が発生した直後で、
非常に稀有な事例だが彼女を創造した《親》もオリジナルも